

親鸞聖人報恩講・相撲甚句



徳成寺では、どうしたら親鸞聖人の恩徳に報いることになるかを考え、この機会に帰敬式を執行し、法名を授かって頂いています。この度も、新たな仏弟子が誕生致しました。受式者の皆さんは「日々のお勤めを生活の基本とし、仏法を聞くことに励みます」と力強く仏前で誓われました。親鸞さまも大変喜ばれていると思います。



2016年も徳成寺で多くの方とお会いできました。今年お参りして下さった方々にはもちろんのこと、お参りはできずとも支えて下さっている全ての方々に感謝申し上げます。皆様とのかかわりの中で生かされている謙虚さを忘れぬよう肝に銘じ、共にお念仏申して参りましょう。

12月4日(日)午後1時～徳成寺において、親鸞聖人報恩講が勤まりました。当日はあいにくの雨でしたが、おかげ様で滞りなく執り行うことができました。親鸞聖人が書き残した正信偈しょうしんげの内容に触れ、不安と苦しみに満ちた私たちを救う仏の願いが込められているお話をしました。



記念すべき120回目の寺ともサービスデーは、相撲甚句です。讃岐相撲甚句会の方々に、自慢ののどを披露して頂きました。相撲甚句は、ふれだいで・前唄・本唄・はやしというパートから成り立っているそうです。本唄には、交通安全や地元・香川県を歌詞にしたものなど様々なものがありました。皆さん素晴らしい声で聞きほれました。

